

令和5年度 公益財団法人坂出市学校給食会事業報告書

1 事業概要

当年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)は、理事6名、監事2名、評議員6名のもと、法令と定款に従い、着実な運営と事業活動ができました。

当年度も坂出市より年度当初、6,830,000円の給食食材費の補助をいただきました。加えて、令和6年1月からの第3子給食無償化に伴う686,100円(3ヶ月分)の補助をいただきました。また、県産品事業が年度途中(令和6年1月～3月)から始まり、2,619,750円の補助金がありました。

給食中止の状況について説明します。6月2日、早朝の大雨警報発令により全幼小中学校の給食3,459食が中止となりました。その後、市内一斉に給食を止めることはありませんでしたが、インフルエンザや新型コロナウイルス等に伴う学年・学級閉鎖により、小学校1,839食、中学校122食、合計1,961食が中止となりました。自然災害による中止分を合わせて、年間5,420食となりました。

加えて、食材の物価高騰も相まって、食材調達・調整、献立内容・食材量、食材補填費等の調整に苦慮しました。特に牛乳の単価変動の対応と県産品補助金の運用については年度末まで見通しが持てない状況が続きました。市給食補助金の余剰金21,916円を市へ返却することとし、収支決算が0円となりました。

令和6年度には、物価高騰等の対応として市より給食食材費の補助を園児児童生徒一人当たり10円から20円に増額していただけることとなりありがたく受け止めています。今後とも食材調達等、慎重に行っていきます。

以下は、内部組織である各委員会の活動状況です。

(1) 物資購入委員会について

この委員会は、給食実施校の学校長をはじめ、PTA代表、行政職員及び栄養教諭で構成され、中心となる役割は、入札を行うことで、新鮮で良質な物資を適切な価格で購入するとともに、見本の物資を吟味検討することで、安全かつ安定した物資の調達に努めることです。併せて、国内産の食材や地場産物の積極的活用にも心がけています。入札は物資の種類により、一般物資と青果物に分類し、その実施回数は、一般物資購入委員会を5回、青果物購入委員会を11回開催しました。

(2) 献立作成委員会について

この委員会は、業務執行理事、行政職員のほか、栄養教諭、調理員さらにはPTA代表者にも参加いただき、基準栄養量の充足はもちろんのこと、郷土料理や地産食材、季節食品の活用による献立の充実に努めました。委員会を年間5回開催し限られた予算の中で、おいしい給食に努めました。

(3) 調査研究委員会について

この委員会は、業務執行理事、行政職員、栄養教諭及びPTA代表で構成され、幅広い見地から給食事業の課題について調査研究しています。当年度は食材価格の高騰が続き、充実した給食の提供が難しくなっていることから10月31日に開催し、令和6年度の給食費について検討しました。令和6年度計画で市からの給食補助金を一人10円から20円に増額の要望をしていくこととなりました。

2 理事会・評議委員会審議事項

期 日	件 名	審 議 結 果
通常理事会 第34回 R5.5.10 17:30～	・令和4年度事業報告に関する件 ・令和4年度決算報告に関する件 ・評議員の招集に関する件 ・監事の改選に関する件 ・委員の選任に関する件 ・坂出市学校給食会の組織について	原案どおり承認
定時評議委員会 第12回 R5.5.30 17:30～	・令和4年度決算報告に関する件 ・監事の改選に関する件 ・令和4年度事業報告について(報告事項) ・令和5年度事業計画及び収支決算について(報告事項) ・委員の選任について(報告事項) ・坂出市学校給食会の組織について	原案どおり承認
通常理事会 第35回 R6.3.18 16:00～	・令和6年度物資購入業者の登録に関する件 ・令和6年度事業計画に関する件 ・令和6年度収支予算に関する件 ・業務執行理事の業務報告(報告事項)	原案どおり承認